

青田遺跡の森林利用

2011年3月12日(土) 10時30分～16時40分
会場 新潟市歴史博物館 みなとぴあ 研修室 (定員80名) ※申込不要・入場無料



《プログラム》(各発表時間 15分)

第1部「青田遺跡の森林利用」

「青田遺跡における集落形成と森林利用」荒川隆史((財)新潟県埋蔵文化財調査事業団)
「青田遺跡周辺の低地における遺跡の立地環境」卜部厚志(新潟大学災害復興科学センター)

「遺跡で用いられた樹木の生育立地」木村勝彦(福島大学共生システム理工学類)
「花粉からみた青田遺跡周辺の植生—人為的な生態系の形成—」吉川昌伸(古代の森研究所)

「大型植物化石から見た青田遺跡の森林利用」吉川純子(古代の森研究所)
「青田遺跡・野地遺跡の漆製品・漆用具について」三ツ井朋子((財)新潟県埋蔵文化財調査事業団)

「先史日本における人類の低地進出と水利技術」山田昌久(首都大学東京都市教養学部)

第2部「奈良県観音寺本馬遺跡の森林利用」

「観音寺本馬遺跡のクリ林」平岩欣太(橿原市教育委員会) ほか

第3部「民俗学から見た森林利用」

「狩猟採集民ウデゲの森林利用と集落形成—東日本との比較—」赤羽正春(神奈川大学国際常民文化研究機構共同研究員)

「燃料材から見た森林利用(仮)」大楽和正(新潟県立歴史博物館)

第4部「青田遺跡・チカモリ遺跡・真脇遺跡の年代」

「青田遺跡出土木材のウイグルマッチング結果とクロスデーティングとの比較」西本 寛(名古屋大学環境学研究所)

「チカモリ遺跡の柱穴出土土器と遺構年代」向井裕知(金沢市埋蔵文化財センター)

「真脇遺跡の掘立柱建物の時期」高田秀樹(能登町教育委員会)

「能登町松波城跡の年代測定と問題点」中村俊夫(名古屋大学年代測定総合研究センター)

第5部 パネルディスカッション 「青田遺跡の森林利用」

《お問い合わせ》

福島大学共生システム理工学類 木村勝彦研究室 TEL024-548-8198